

宗教哲学会 第8回学術大会

平成28年3月26日(土)
京都大学 文学部新館 2階

研究発表 9時30分～11時55分

第1部会(第4講義室)

1. H. G. ガダマーの解釈学における〈有限性〉の概念
岡田勇督(京都大学)
2. レヴィナスにおける民主主義
松葉類(京都大学)
3. 死の言葉をどのように聞くか
— ハイデガー『存在と時間』における「死の実存論的な分析」について —
松本直樹(同志社女子大学)

第2部会(第6講義室)

1. 常識と歴史 — ジョン・ヒックの二つの論理 —
橘田直樹(ノッティンガム大学)
2. J-L・マリオンの現象学的神・論における
「応答」の成立根拠の解明へ向けて
石田寛子(上智大学)
3. 鈴木大拙の思想における妙好人研究の位置づけ
末村正代(関西大学)

講演会 13時30分～17時 (第7講義室)
「学知・仏教・信仰」

1. 村上専精と近代日本仏教
オリオン・クラウタウ(東北大学)
2. 宗教と哲学 — 清沢満之の思索 —
藤田正勝(京都大学)

司会：吉永進一(舞鶴工業高等専門学校)

* 会員以外の方も、参加料500円でご参加いただけます。